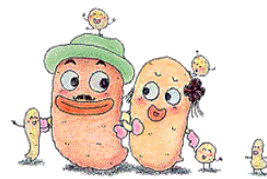


湯戸飛夜いけいけだより



Jinen Joe family

発行 西徳山まちづくりの会

記事:

・まちづくり研修旅行報告
「道後温泉へ研修視察に行きました」

・平成29年度の活動を検証する

・連載小説
『涙にぬれた蒼き思いー徳山七土物語ー』第7回

・名所旧跡
「坊ちゃん」、「弘中又一記念公園」

・今後の行事予定

会員募集中

あなたも「西徳山まちづくりの会」で一緒に活動しませんか。会では、常時、会員を募集しています。

E-mail:
nishitokuyamamatizuku
rinokai@gamail.com

まちづくり研修旅行報告

「道後温泉へ研修視察に行きました」

1月28日早朝、戸田駅に集合し、電車とフェリーを乗り継ぎ、松山の街にはお昼前に着きました。松山は暖かく、まるで春が到来したかの様でした。

まずは、司馬遼太郎の代表作「坂の上の雲」の主人公である秋山兄弟（秋山好古、秋山眞之）の生誕地に復元された生家を見学しました。

小さな家で、下級武士であった秋山家が生活した明治時代の生き様を垣間見ることができました。現地では、ボランティアガイドの丁寧な説明により、楽しく見学することができました。その中で、ガイドの方から徳山のマツノ書店が好古氏に関する文書を復刻したとの話を聞いて、私たちは大変嬉しくなりました。



次に行った「坂の上の雲ミュージアム」では、秋山兄弟や正岡子規が生まれ育った松山の街が、彼らに多くの影響を与えたことを学びました。

続いて、ミュージアムの隣にある「萬翠荘」も見学しました。

1日目の予定を終了し、路面電車で道後温泉に向かいました。

道後温泉は大変な賑わいで、大勢の人であふれていました。日本最古といわれる温泉と美味しい料理を堪能し、更に「道後温泉本館」へと足をはこんだ会員もいた様です。本館の入浴は朝がおススメです。一番風呂は最高ですよ。



2日目は前日の晴天とうってかわって雨模様となりました。この日は「子規記念博物館」を見学しました。松山は「俳句の街」の様で、街のいたる所に句碑が建てられており、街全体が俳句に慣れ親しんでいるかの様でした。正岡子規がとても大事に思われていることが感じられました。子規記念館では、学芸員の説明を聞くことができました。学芸員の制服は「伊予かすり」で、とても素敵でした。

今回の松山への研修視察は、電車、フェリー、バス、路面電車を利用して、少人数でしたが楽しく有意義なものとなりました。なかでも、せっかく昼食を自由行動としたのに、いつの間にか会員全員が「漱石」の名の付くお好み焼き屋に偶然集まってしまい、「息が合っているな」と皆で笑みがこぼれる状況がありました。

(木曾ちゃん)

平成29年度の活動を検証する

(1) 戸田駅を中心とした活動を継続する。

①西徳山の玄関口である戸田駅を「花の駅」として整備する。

- ・戸田駅を花で飾る…花をもっと増やす。花壇に花育ての里親を募集し花育てを進める。
- ・「湯戸飛夜いけいけだより」で「花の駅」を積極的にPRする（生け花の紹介、他）。

②戸田駅前でのイベントを継続する（夏のビアガーデン、冬のクリスマス会、他）。

〈総括〉

①については、毎月第2、第4土曜日に戸田駅前の清掃及び花壇の手入れを実施した。花は、年に2回植え替えている。夏場の花壇の水遣りを当番で行った。市道沿いの花壇に芝桜を植えた。里親は応募者がなかった。

②については、戸田駅前広場で7月と10月に「駅前ビアガーデン」を開催した。

(2) 「道の駅ソレーネ周南」を拠点とした活動に新たにに取り組む。

①「道の駅ソレーネ周南」の盛り上げに協力する（イベントへの参画など）。

- ・「西徳山いけいけフェスタ」に代わる収入源を検討する。

〈総括〉

①については、『ソレーネ周南イベント実行委員会』に会から委員を出した。また、収入源の確保のため各種イベントの屋台村に出店した。

(3) 西徳山の発展を目指した新たな活動に取り組む。

①“観光資源”“自然環境”を活かした活動を目指す。

- ・西徳山3地区の歴史・観光・史跡を紹介したMAPをつくる（ウォークMAPと連動）。
- ・地元の有名人を探し「湯戸飛夜いけいけだより」で紹介する。

②西部地域のウォーキングコースを充実・PRする。

- ・「てくてくウォーク」のコース内容を会員みんなで検討し、さらに充実する。
- ・コースマップの作成とマップのHPへの登録。

- ・会員増強と合わせ、西部地区を含めた市全域の方にも参加を呼びかける。

〈総括〉

①については、いけいけだよりに3地区の歴史・観光・史跡を紹介した記事を載せ、これを

まとめて、MAPを作りたいと考えている。また、地元の有名人として、どなたが居られるか情報を収集しているところです。

②については、MAP作りについての原案は作成済みで、事務局でどのような形にするかを検討中です。また、ガイドの案内原稿を作成し、てくてくガイドの養成講座を3回、実地研修を1回開催した。

(4) 交流・研修・広報活動に取り組む。

- ①研修旅行、見学会の定期開催。
- ②セミナー、交流会の企画開催。
- ③「湯戸飛夜いけいけだより」の定期発行。

〈総括〉

①については、1月27日（土）～28日（日）に道後温泉で宿泊研修、視察を行った。

②については、実施しなかった。

③については、3ヶ月ごとに年4回発行し、新聞折り込みで湯野、戸田、夜市地区に配布した。第40号はカラー印刷で発行した。

(5) 組織を充実し拡大する。

- ①会員増強。
 - ・広報、ウォーキングなどイベントを積極的に活用して会員を増やす。
- ②全体会への会員の参加を促す。
 - ・会員の多くが参加できるイベントを考える。
 - ・映画鑑賞等のイベント。

〈総括〉

①については、駅前イベントを実施し、賛助会員が1人増えました。

②については、月1回、映画鑑賞会を開催した。

(6) 他の諸団体と連携し効果的な活動を展開する。

- ①他団体との連携
 - ・地域で行われるイベントへ参加し、自治会などの地域住民とも連携して、まちづくり活動を継続する。資金源とする。
- ②行政との連携及び提案

〈総括〉

①については、地域イベントへ屋台村で参加した。

②については、駅前花壇で「公園花とみどり課」と「種から育てる花作り」を連携して進めた。

連載小説

『涙にぬれた蒼き思い—徳山七士物語—』 第7回 文 城山 耕作

(これまでのあらすじ)

京都で起きた禁門の変（蛤御門の変）によって長州藩は「朝敵」となり、長州各藩は、幕府の動きに注視していた。徳山藩では、保守派の野上家老が政治を主導し、藩の保守的な政策転換に不満を持つ志士が家老と面談し、場合によっては家老を倒す計画が進められていた。

1864年8月9日夕刻、河本源蔵宅に数人の同志が集まり、河本は、家老宅を訪問する目的を再確認し、遅れて参加する次郎佐が同席するまでは、決して暴挙に出ないことを徹底した。

家老宅。玄関で、河本が門番に、「河本源蔵ほか数名、ご家老と面談いたしたく、お取次ぎ願いたい。」と伝える。門番は、「しばし、待たれよ。」との言葉と同時に奥に取り次いだ。

しばらく後、門番より「ご家老が面談される。お腰のものを玄関でお預け願いたい。」と返ってきた。

玄関では、田中一学が数名の者と一行を出迎え、「お腰のものをお預かりできますか。」との声があった。河本をはじめ、皆が刀と脇差を玄関で預け、邸宅の広間に案内された。

河本は、あらかじめ刀一式を預けることを想定し、脇差一振りを懐に忍ばせていた。

広間に通されてしばらくすると、野上家老が田中一学を連れて現れ、正面に家老、対面に河本をはじめとする志士、河本たちの左側に田中一学が着座した。

「今日は、何の用で来た？」と家老が静かに尋ねる。

河本は、「朝敵となったわが藩は、どのようにして再起を図るお考えか、ご家老のご意見を伺いたい」と応酬する。

「尊王攘夷思想で長州藩は今回の絶体絶命の危機に瀕しておる。事態の收拾を図るため、幕府から課される命題をやり遂げるのみじゃ。幕府に恭順の姿勢を示さねば、藩は守れぬ。」と家老。

「ご家老は、長州の尊王攘夷思想を転換

し、幕府への恭順を示すために、意に沿わない志士の取り締まりを行うと噂があります、いかがか。」

「過激な行動を慎めと言うておる。藩にとって危険な輩は、野放しにはしておけぬ。」

「ならば、いずれ我らも危険な存在として捕縛されるのか。」

「長州を取り巻く状況が一変し、孤立無援になった今を、お主たちはどう心得ておる？」と、熱い感情を乗せた言葉が返ってきた。

河本は、「幾乃どのを殿に輿入れされて以来、ご家老は、わが藩の有意な藩士たちを多く遠ざけ、思うがまま藩政を行っておられる。萩本藩と共に、長州の兵制を再構築し、幕府や各藩からの征討に備え、守備固めに取り掛かることができませぬか。」と、勢いのある言葉で家老に訴えた。

「今以上に幕府を刺激して、お主たちは長州を廃藩にさせるつもりか。」

言葉の応酬が繰り広げられ、ついに河本は激情に駆られ、懐の脇差を瞬時に取り出すや、野上の左肩から右方向に袈裟切りに一振りした。踏込みが浅く、脇差の短さから致命傷を負わずことができず、田中一学の即応もあって、河本はじめ一党は、一回の攻撃のみで脱兎の如く逃げ出すほかなかった。家老襲撃は、次郎佐がいない間に、野上家老殺害の未遂で終わった。

(以下次号)



西徳山まちづくりの会

編集後記

平成29年4月でまちづくりの会は20周年を迎えました。また「いけいけ便り」は平成30年1月号で、10周年を迎えました。会そのものが20年も存続すること、広報が10年40号まで続いたことは、驚きのことであります。

どんなに寒い冬の中でも、草木は芽を出す準備をしているそうです。春になると必ず膨らんでいきます。倦まず、弛まず、焦らずに寒い冬を耐えています。

私たちの会の20年・広報10年の継続は、飽きたり、投げ出しそうになったり、焦ったりの連続でした。

しかし、そんな時は誰かが継続を主張したり励ましたりして、ようやくたどり着きました。

今年は自分たちの会のご褒美に、祝賀会でも開きましょう。さあ、計画を立てましょう。

まちづくりの会はまだまだ続きます。

倦まず、弛まず、焦らずに…

発行責任者

会長 神本康雅
広報部長 木曾裕子

西徳山まちづくりの会

ホームページURL:

nishitokuyama.web.fc2.com

名所旧跡

「坊ちゃん」、「弘中又一記念公園」

湯野温泉郷を静かに流れる「夜市川」沿いの一角に、気持ち良さそうな表情で釣りをしている「坊ちゃん」の像が有ります。像の側には、「夏目漱石『坊ちゃん』のモデル『弘中又一』」と記された銘板が有り、かの作品が、静かな温泉郷に縁深いものであると手引きをしてくれます。

弘中又一は、湯野小学校を卒業、現在の同志社大学を経て、22歳の時に「松山中学校」に数学の教員として赴任しています。同校には、英語教員をしている少し年上の夏目漱石が赴任しており、一時期、二人は教鞭を共にとっています。

二人は、うまが合う間柄で、毎日の出来事や失策を笑い飛ばし、その楽しい日々と周囲の個性的な人間をモデルとして、「坊ちゃん」は夏目漱石の手で誕生したとされています。

作品発表以来、長い間多くの世代から愛され続けている「坊ちゃん」が、我が街「周南市湯野」に縁があると考ええると、嬉しいものです。ぜひ、「坊ちゃん」の像を、ご覧になってみてください。

(村リン)



今後の行事予定

西徳山まちづくりの会全体会

原則として毎月第1水曜日の19:30から夜市公民館

戸田駅前広場周辺の清掃

毎月第2、第4土曜日の16時から、戸田駅前広場の清掃と花壇の手入れを行っています。

お手伝いしていただける方、大歓迎です。

映画鑑賞会「そうだ!!昔の映画を見よう！」

原則として毎月第3水曜日の19:00から夜市公民館で開催します。興味のある方、是非おいでください。